

見えない「安全性」と「品質」

—サプリメントの信頼性はどこにあるのか?—

NPO日本サプリメント協会理事長

後藤典子

そのサプリメント大丈夫?

いわゆる健康食品やサプリメントの継続的な利用者は6割にも上ると言われるなか、それら多くの利用者に適切な情報や知識が届いているかといえれば、どうも首を傾げざるを得ません。

巷には食品や健康にかかわるあふれんばかりの情報はあるものの、ときには、そこに巧みな落とし穴が潜んでいることもあり、とくに情報にうとい高齢者にとっては、そうした落とし穴に陥ってしまう危険性が高いのが現状です。

実際、「これを飲めば××が治る」とか、「9割以上の治癒率!」「驚異の効



後藤理事長

果!」などと根拠のないデータや体験談などで購買意欲をあおりたてる違法な宣伝広告も後を絶ちません。

こうした文言が違法であることを知らない消費者にとっては、法律を守って「効果効能」を言わない商品よりも、このようにはつきりと効果を伝えてくれる商品のほうが親切でわかりやすいと勘違いして、うっかりそこに手を伸ばしてしまうのです。しかし、違法行為を犯してまで販売しているような商品は、はたして本当に大丈夫なのでしょうか。

協会では、「危ないサプリメント11箇条」と題して、利用者に注意を呼びかけています。誌面に掲載しましたので、ご覧いただきたいと思えます。(参考資料「危ないサプリメント11箇条」)

たとえば4条の「まとめ買いをさせるもの」とありますが、これは、半年分を購入するとひと月分がタダになる、というような販売の仕方をしている商品のことです。お得感を前面に出して消費者意識に訴えるものですが、基本

危ないサプリメント11箇条

- 1条 1ヶ月に20万円、30万円を要する高額な値段であるもの。
- 2条 「何割が治りました」という効果が示されているもの。
- 3条 「幻」「驚異」「神秘」など誇大宣伝を行っているもの。
- 4条 まとめ買いをさせるもの。
- 5条 やたらと危機感を煽るもの。
- 6条 NPOや学術研究団体などを名乗って特定の商品を販売しているもの。
- 7条 いわゆるバイブル本をネタに、商品を販売しようとするもの。
- 8条 「天然素材」「特許取得」などの冠言葉で誘導しようとするもの。
- 9条 ほかのサプリメントをことさら否定するもの。
- 10条 発疹や発熱などの症状を好転反応だと強弁し、継続を強く勧めるもの。
- 11条 動物実験のデータをやたらと強調するもの。

的にはじめて取るサプリメントは、まずひと月分を試して、自分に合うかどうかをチェックしながら継続していくのが望ましいので、最初からまとめ買いはしないようにしましょう。

また6条に「NPOや学術研究団体などを名乗って特定の商品を販売しているもの」とありますが、NPOなどの看板で良いイメージを与えて信用させ、じつはバックに特定の販売会社がついて自社商品を上手に販売している、というケースも見受けられます。同じ

協会の信頼基準 12 項目

企業を見る

1. 社歴と企業理念
2. 商品開発の動機とそのプロセス
3. 情報公開の姿勢
4. ユーザーへの対応
5. 販売システムと販売実績
6. 社会貢献活動

製品を見る

7. 食品成分分析表および安全性の試験
8. 原材料までのトレーサビリティ
9. 製造工程と衛生管理
10. 学会誌や学会での論文発表
11. 民間研究機関での科学的データ
12. 広告の適法性

品質・安全性をはかるモノサシは？

ところで、私たちはふだん、どのように商品の良し悪しを判断し、選択しているのでしょうか？

利用者に聞くと、いくつかの答えが返ってきます。「有名な企業のものだから」「よくコマースシャルで見るから」「チラシやパンフレットを読んでいるから」「買ったから」「友人の紹介だから」といったところがおもな答えです。

しかし、こうした答えをよく考えてみると、そこには商品の「品質」や「安

く7条の「いわゆるバイブル本をネタに、商品を販売しようとするもの」というケースのように、効果効能や架空の体験談を載せた一般書籍を出版し、その内容についての連絡先を巻末に記載して、自社に客を誘導しようといったカラクリもあります。

「全性」についての確かな根拠はないような気がします。健康食品やサプリメントは口に入れるものですから、まずは「品質」や「安全性」についてきちんと確認してから選びたいというのが利用者としての本音ではないでしょうか。

では、そうした商品を見る「モノサシ」として、どんなものがあるのでしょうか。それを3つあげるとすれば、ひとつは「工場での製造管理」、もうひとつは「製品の安全性」、最後に「有効性の科学的根拠」といったところでしょう。

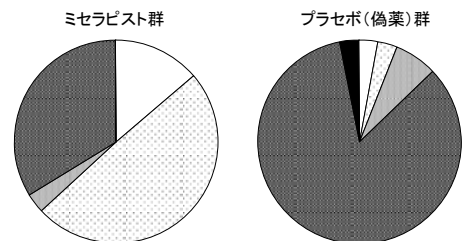
しかし困ったことに、このどれをとっても、利用者自身でチェックできるものなどありません。ラベルに書かれているわけでもなく、パンフレットで確認できるものも限られています。これでは安心して商品を選択できるわけがありません。

12のチェックポイント

そこで当協会では、利用者の視点で、利用者に代わってそれらの商品の信頼性を確かめるための調査をおこなっています。チェックポイントは12項目あり、それぞれに資料やデータを公開してもらい、複数の専門家がその信頼性を判断します。(参考資料「信頼基準12項目」)

これまで協会が認証してきた商品のなかには、すぐれた科学的根拠を持つものもいくつか登場していますが、そ

ミセラピストの抗アレルギー効果



統計学的有意差あり(p=0.0002,マンウィットニ-検定)

J Allergy Clin Immunol 119: 1119 (2007)

のひとつを誌面でご紹介しましょう。

昨年、研究論文が「日本眼科学会学術奨励賞」を受賞した味の素株式会社「ミセラピスト®」という商品があります。シイタケのエキスの機能食品ですが、免疫に関わるいくつかの機能が研究されており、(右図) 信頼性の高い商品として評価しています。

今回、この商品の体感モニターキャンペーンがおこなわれているので、利用してみたいかがでしょうか。(詳細は、日本サプリメント協会事務局にお問い合わせください)

TEL 03-6666-2202

FAX 03-6666-2201

まずは自分の五感に合うかどうか確かめてから購入する、という姿勢も大切です。そして摂り始めたらひと月は続けてみて、自分の体の変化にアンテナを張り巡らせるチェック機能を持つことも忘れないでください。